

裏作レタスで消費者が求める野菜の産地へ

きさらづし そでがうらし
【千葉県木更津市・袖ヶ浦市】

体制・人材
づくり
栽培作物
・方法
加工・出荷
販売

【工夫のポイント】

- 基盤整備によって水田の汎用化が図られたことで、**裏作でのレタス生産が活発化**し、地域一体での産地形成に取り組む。
- 青果物の消費構造の変化を捉えつつ、**消費者ニーズに応じた野菜の生産に向け、契約栽培を推進**。実需者への安定的な供給体制の確立により、経営の安定化を図っている。

ほ場整備による営農条件の改善・経営発展により 裏作でのレタス生産が活発化

- ほ場整備事業の実施を契機とし、担い手農家の経営が大規模化したほか、周年作業体系の確立や雇用労力活用のため、**裏作のレタスに取り組む経営体が増加**。



基盤整備
(S62年～H16)

【整備前】

狭小な区画で**農道も狭く**大型機械の導入が困難であったほか、水路は**用排水兼用**で**地下水位が高く**、降雨時の排水に苦慮。



【取組地域の概要】

- 位置 きさらづし そでがうらし
千葉県木更津市、袖ヶ浦市

おびつがわりゆういき
小櫃川下流域



- ほ場整備地区
ひらかわとうぶ
・平川東部
うきとがわじようりゅう
・浮戸川上流
やなかにし
・谷中西
かみもうだ
・上望陀
うきとがわじようりゅうにき
・浮戸川上流Ⅱ期

- 主要作物
・水稻、レタス、サヤインゲン

- 主な支援施策
・県営ほ場整備事業(S62～H16)
(経営体育成基盤整備事業等)
・多面的機能支払交付金(H19～)

生産現場

品質向上のための排水対策

- **生産者自らが実施できる補助暗渠**の実演会などを通じて地域全体の農地で排水性を改良するなど、地域一体で産地形成に向けた品質向上を実践。

消費者ニーズに即した生産と契約栽培

- これまで市場向けに出荷していたレタスは、カット野菜を始めとした**業務加工向け野菜等への需要の高まりにも対応し、事前契約による栽培を推進**。
- 実需者と生産現場をつなぐ調整は地域のJAが中心となつて行うなど、**消費者のニーズに応じた量の生産を確実にこなせる体制を構築**。



加工・流通

生産者確保による安定した産地形成

- 大規模経営に取り組む若手生産者や新規栽培者など生産者が増加することで、産地を確立。
【生産者数:31人(H24)→38人(H28)】

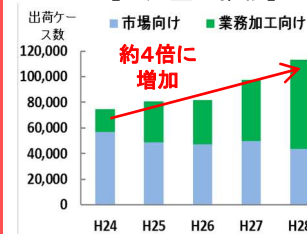
担い手

ほ場条件の改善による裏作レタスの導入と 契約栽培への転換による経営の安定化

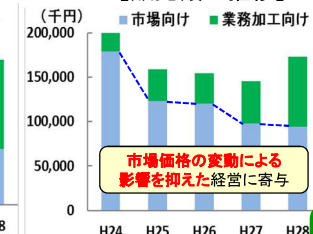
- 基盤整備によって**裏作のレタスが計画的に生産**できるようになったほか、業務加工向け野菜など、**実需者のニーズに即した農産物の安定供給体制を構築**。
市場価格の変動の影響を受けにくい安定した経営及び産地形成を実現。



【生産量の推移】



【販売額の推移】



【出典：県によるレタス生産者への聞き取り】